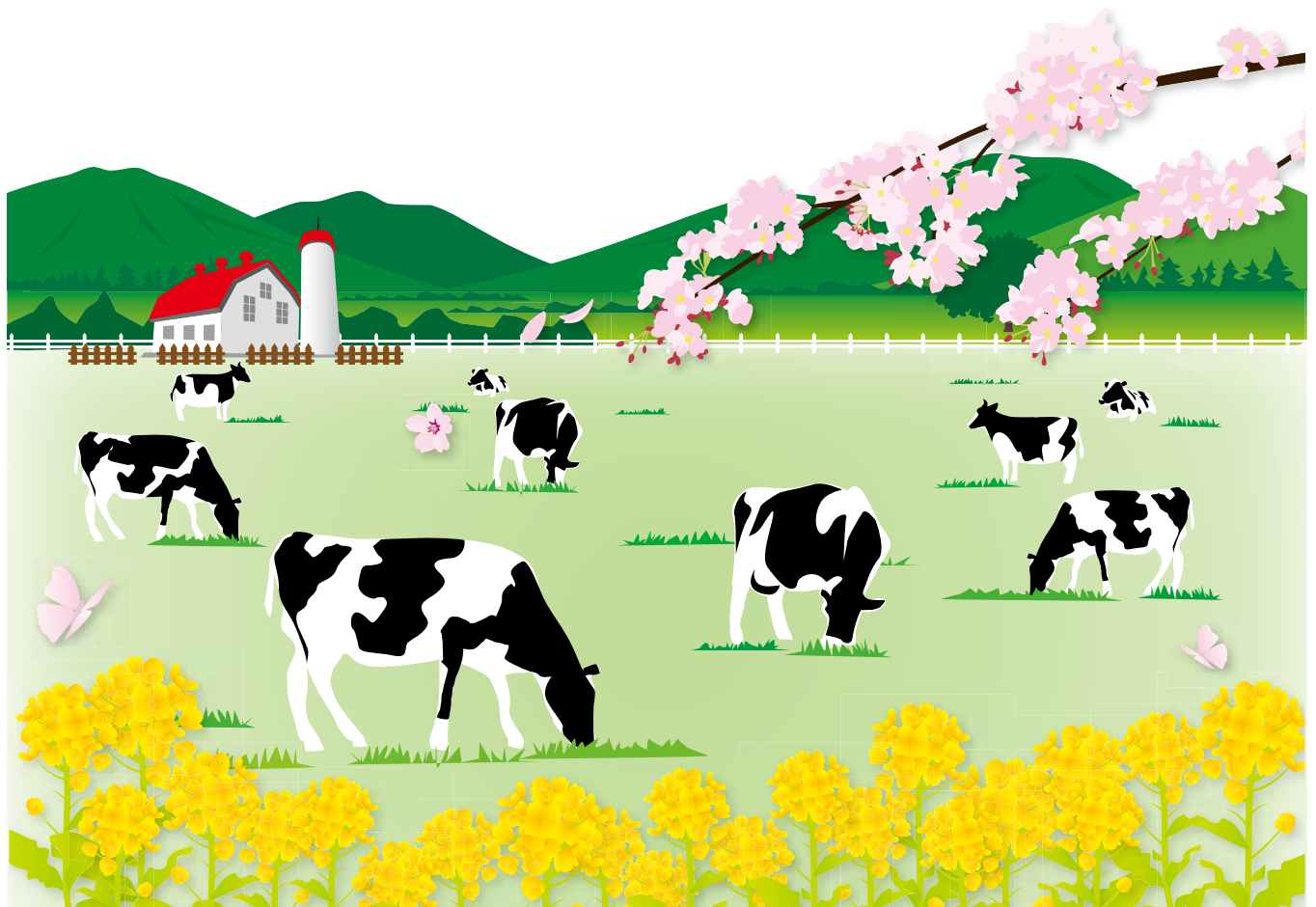


第115号

酪農とちぎ



- 1 ページ 表紙
- 2 ページ 令和2年乳代集計結果について
- 3～4 ページ 部課だより（指導企画課、総務課）
- 5 ページ 部課だより（生乳受託課）
- 6 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績
- 7 ページ 酪農とちぎ機構図
- 8 ページ 新型コロナウイルス感染予防チラシ



えみ
コロナ対策笑味ちゃん



令和2年乳代集計結果について

1月から12月の乳代集計結果についてお知らせします。

生乳生産実績

令和2年の年間乳量は23万5832tの実績となりました(表1)。令和元年と比較すると101.5%の実績です。気候的な要因とし

表1 年間乳量と出荷戸数

	年間乳量(t)	12月出荷戸数(戸)	1戸当り乳量(t/戸)
平成14年	213,002	738	289
平成15年	210,263	722	291
平成16年	213,341	705	303
平成17年	210,244	681	309
平成18年	220,457	653	338
平成19年	217,429	621	350
平成20年	216,870	593	366
平成21年	217,355	570	381
平成22年	206,590	546	378
平成23年	200,643	529	379
平成24年	210,197	521	403
平成25年	214,584	491	437
平成26年	221,612	476	466
平成27年	234,508	461	509
平成28年	237,879	441	539
平成29年	236,444	423	559
平成30年	231,863	409	567
令和元年	232,481	389	598
令和2年	235,882	368	641

ては、前年に引き続き年間を通して平均気温が高い状態が続いたものの、暑熱による乳量の減少幅は令和元年と比べ小さく、10月以降も日量は令和元年を上回りました(図1)。また出荷者が新たに増えたことで、1戸あたりの飼養頭数が増加したことも前年を上回る要

表2 一頭当り乳量 (kg)

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
那須高原支所	9,111.4	9,126.1	9,127.7	9,212.0	9,104.0
宇都宮支所	9,025.7	9,082.7	8,881.6	8,830.0	9,206.9
県南支所	8,659.8	8,675.5	8,526.0	8,650.9	8,719.0
平均	8,997.1	9,017.3	8,958.6	9,033.3	9,030.2
前年比		100.2%	99.3%	100.8%	100.0%



図1 日量の推移

因となりました。一頭あたり乳量(表2)については、前年比100.0%となり、令和元年に引き続きの猛暑の影響で年間のばらつきは大きいものの、前年並みとなっております。

乳価

支払い乳価(図2)は、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言等を受け、学校における全

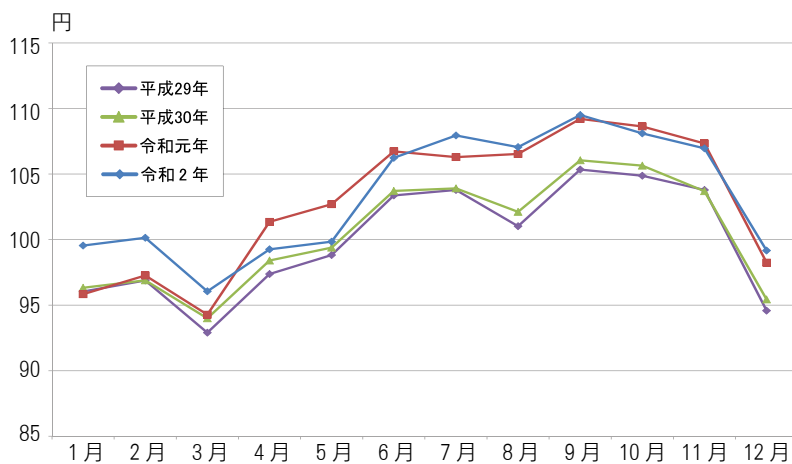


図2 支払乳価(手数料等控除後、乳質加算前)

国的な臨時休業措置が取られました。その影響もあり4月〜5月にかけて支払乳価が前年を下回りました。乳代追加払い(事業分量配当、需要期出荷奨励金、需要期優良奨励金、酪農生産基盤強化対策金、乳代精算払い、集送乳業務委託費精算払い)におきましては総額3億5525万円お支払いし、年間乳量で除すると1・50円/kgお戻しすることができました。



部課だより

指導企画課

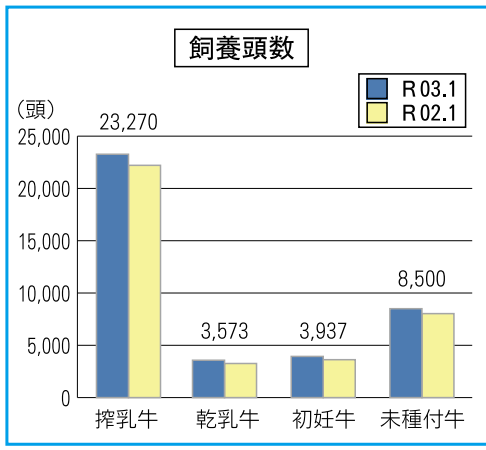
● 乳牛飼養動態調査

1月1日現在での乳牛飼養動態調査の結果がまとまりましたので、ご報告します。

1. 出荷者戸数・

飼養頭数について

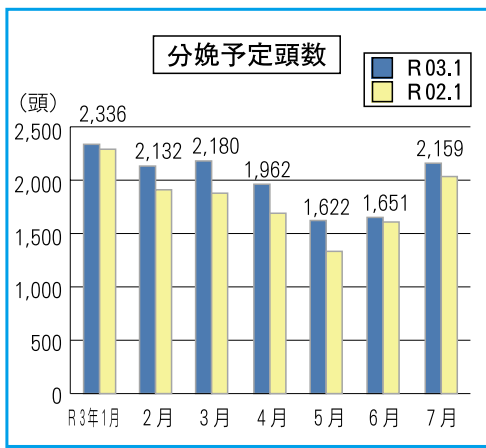
前年1月と比較すると酪農中止は19戸(団体公共を除く)となり、出荷者数は前年同月比4・4%減の370戸となりました。廃業の理由は、高齢や後継者がいない6戸、経営不振2戸、病気療養その



他11戸でありました。なお、酪農中止者19名の廃業時の合計飼養頭数は335頭でした。期間中新規出荷者が2戸増加し、出荷者数は差し引き17戸減となりました。

2. 飼養頭数について

飼養頭数の内訳は、経産牛は前年1月比5・4%増加し2万6843頭、自家育成牛は前年比0・3%増加し8320頭、外部預託牛は前年比22・6%増の4117頭でした。また、1戸あたりの平均飼養頭数は10・3頭増加し、106・2頭で前年に引き続き増加しています。



令和3年1月度 乳牛飼養動態調査表

(令和3年1月1日現在)

支所別	調査年月	出荷者数	飼養頭数								合計	育成牛保有率(%)	1戸平均飼養頭数	繁殖和牛経産牛頭数	月別分娩予定頭数 (カッコ内は内数で判別精液頭数、また下段は令和2年1月の実績頭数)							合計
			経産牛			自家育成牛		外部預託牛							1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	
			搾乳	乾乳	小計	初妊牛	未種付牛	初妊牛	未種付牛	合計												
那須高原支所	R03.1	231	15,617	2,282	17,899	1,735	3,794	1,132	2,002	26,562	32.61	115.0	958	1,564 (139)	1,459 (130)	1,509 (156)	1,390 (149)	1,191 (119)	1,219 (121)	1,498 (156)	9,830 (970)	
	R02.1	242	14,476	2,015	16,491	1,834	3,565	680	1,677	24,247	31.99	100.2	717	1,522	1,307	1,245	1,156	937	1,133	1,371	8,671	
	増減	▲11	1,141	267	1,408	▲99	229	452	325	2,315	0.63	14.8	241	42	152	264	234	254	86	127	1,159	
宇都宮支所	R03.1	67	2,737	402	3,139	447	956	139	429	5,110	38.57	76.3	50	283 (47)	239 (49)	212 (35)	183 (30)	141 (22)	151 (28)	233 (54)	1,442 (265)	
	R02.1	69	2,749	420	3,169	410	1,051	133	432	5,195	39.00	75.3	92	262	194	216	169	143	167	223	1,374	
	増減	▲2	▲12	▲18	▲30	37	▲95	6	▲3	▲85	-0.43	1.0	▲42	21	45	▲4	14	▲2	▲16	10	68	
南支所	R03.1	72	4,916	889	5,805	394	994	90	325	7,608	23.70	105.7	67	489 (30)	434 (20)	459 (27)	389 (17)	290 (6)	281 (15)	428 (19)	2,770 (134)	
	R02.1	76	4,984	825	5,809	469	967	98	337	7,680	24.36	101.1	54	506	409	417	365	253	308	440	2,698	
	増減	▲4	▲68	64	▲4	▲75	27	▲8	▲12	▲72	-0.66	4.6	13	▲17	25	42	24	37	▲27	▲12	72	
合計	R03.1	370	23,270	3,573	26,843	2,576	5,744	1,361	2,756	39,280	31.66	106.2	1,075	2,336 (216)	2,132 (199)	2,180 (218)	1,962 (196)	1,622 (147)	1,651 (164)	2,159 (229)	14,042 (1369)	
	R02.1	387	22,209	3,260	25,469	2,713	5,583	911	2,446	37,122	31.39	95.9	863	2,290	1,910	1,878	1,690	1,333	1,608	2,034	12,743	
	増減	▲17	1,061	313	1,374	▲137	161	450	310	2,158	0.27	10.3	212	46	222	302	272	289	43	125	1,299	



なお、搾乳牛は前年より4・8%増加し2万3270頭、乾乳牛は9・6%増加し3573頭でした。育成牛（自家・外部預託含む）の保有率は、0・27%増加し31・66%で合計1万2437頭となりました。

3. 分娩頭数について

令和3年7月までの分娩予定頭数は、前年同時期分娩実績に比べ1299頭増加し1万4042頭となっています。すべての月で前年の分娩実績より多い分娩となる見込みで、平均10・2%の増加となっており、最大の増加幅は5月で21・7%の見込みであり、これ以外に外部導入が2339頭予定されており、生産基盤のさらなる強化が期待されます。

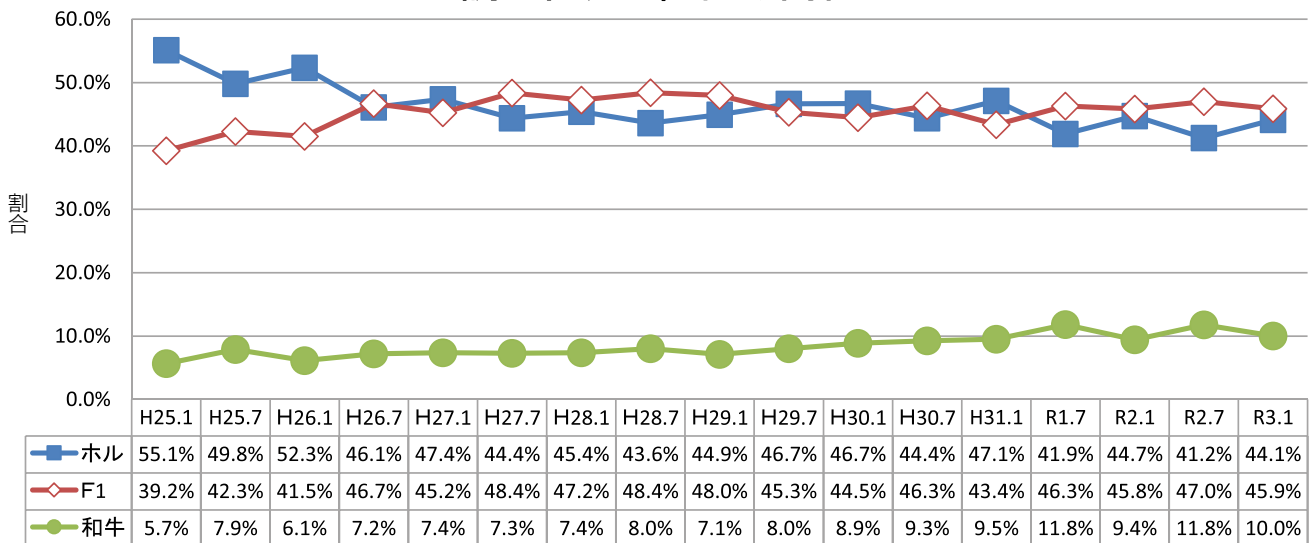
分娩予定頭数が大きく伸びていることから春に向けて増加傾向を取ることが予想されます。特に3月から5月に分娩する牛が夏前（夏に泌乳のピークを迎えることから、生乳生産環境の整備、特に暑熱対策をしっかりと行い、牛が最

大のパフォーマンスを發揮できるように対策を講じる必要があると考えております。

4. その他

令和2年7月から令和2年12月の品種別分娩実績は、ホル種は前回（令和2年7月調査）より2・9%増加し6019頭（分娩実績構成比44・1%。以下同じ。）となり、交雑種は1・1%減少し6260頭（45・9%）となりました。また、和牛ETについては1・8%減少し1367頭（10・0%）となりました。交雑種をはじめとした初生牛相場が1年を通して下落基調にあったことや、補助事業、組合事業（育成支援事業）の積極活用によってホル種の分娩頭数が増加しているものと思われる。

調査回別 種付け割合



総務課

● Web会議で理事会開催

2月26日の第11回定例理事会におきまして、新型コロナウイルス対策により初めてWeb会議での開催となりました。

本所からは執行役員が、支所からは理事・監事の皆さんがそれぞれノートパソコンで出席され、大きな問題もなく無事終了することが出来ました。

Web会議は、関係団体の会議・研修会で一般的になっています。今後、本組合でも様々な場面でWeb会議を活用してまいります。



県南支所 Web会議風景

生乳受託課

令和3年2月度の組合生乳生産量は、1万8775t（前年比99.2%、閏年修正102.7%）となりました。各支所の受入乳量は、那須高原支所1万2366t（閏年修正前年比103.2%）、宇都宮支所2381t（同102.3%）、県南支所4015t（同99.7%）となり、出荷者数は前年同月より16戸減の368戸（内、学校1）となりました。

2月度の組合平均乳質は、脂肪率3.95%（前年差+0.06%）、無脂固形分率8.88%（同+0.02%）と乳成分は前年より上がり、体細胞数についても19.29万と前年より1.12万低下し改善されている状況です。

関東生乳販連の2月の総受託乳量は8万1400t（前年比96.7%、閏年修正100.2%）となり、閏年修正のデータとなりますが45ヶ月ぶりに前年を上回る状況となりました。用途別販売数量を見ると、飲用牛乳向けは単ごもり需要の分、累計では前年をわずかながら上回っている状況です。

全国の生産量は閏年修正で10

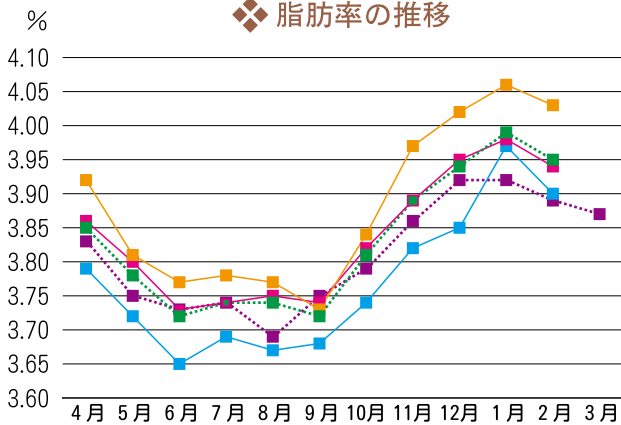
1.1%と16ヶ月連続で前年を上回りました。北海道が前年比101.8%と24ヶ月連続で上回り、都府県も100.2%と2ヶ月ぶりに前年を上回りました。

なお、令和3年2月度の生産量・乳質、及び関東生乳販連の用途別販売数量は別表の通りです。

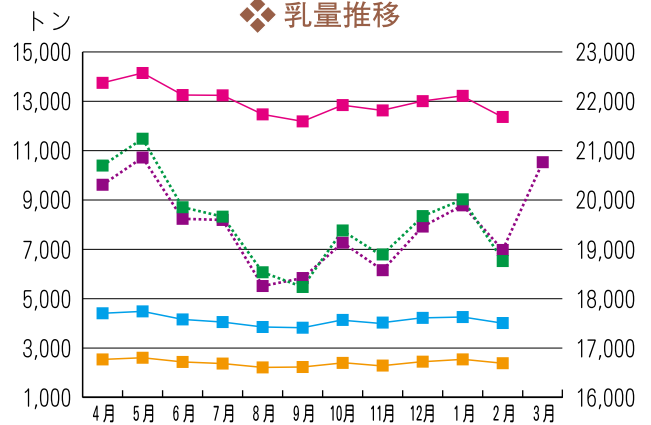
令和2年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	2月期実績	前年同期実績	前年比		2月末実績(累計)	前年同期実績	前年比	
				閏年修正				閏年修正
飲用牛乳向け	62,907,175	64,759,507	97.1	100.6	714,927,242	726,096,337	98.5	98.8
(うち学校を除く飲用)	51,924,573	53,795,222	96.5	100.0	618,712,759	618,143,965	100.1	100.4
(うち学校向け)	10,982,602	10,964,285	100.2	103.7	96,214,483	107,952,372	89.1	89.4
はっ酵乳向け	11,399,713	11,554,562	98.7	102.2	136,626,269	137,321,617	99.5	99.8
脱粉・バター等向け	5,929,724	6,657,875	89.1	92.2	66,439,193	63,724,890	104.3	104.6
(うち委託加工向け)	0	0	-	-	0	0	-	-
生クリーム等向け	1,114,800	1,134,878	98.2	101.7	12,423,835	13,554,159	91.7	91.9
チーズ向け	49,512	61,316	80.7	83.6	696,828	706,365	98.6	98.9
全乳哺育向け	0	0	-	-	0	0	-	-
総受託乳量	81,400,924	84,168,138	96.7	100.2	931,113,367	941,403,368	98.9	99.2
脱粉・バター等向け比率	7.28	7.91	-	-	7.14	6.77	-	-

◆ 脂肪率の推移

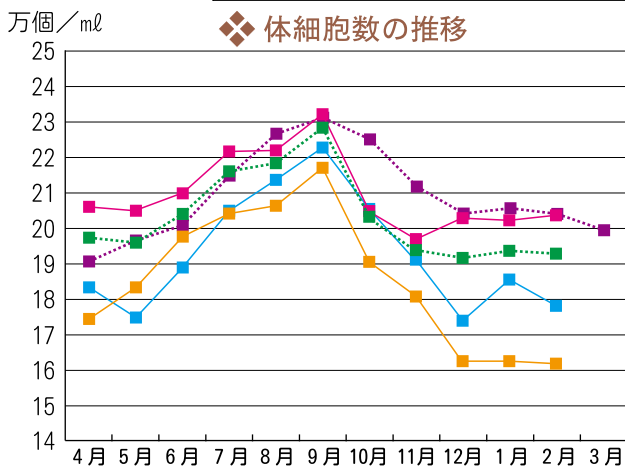


◆ 乳量推移

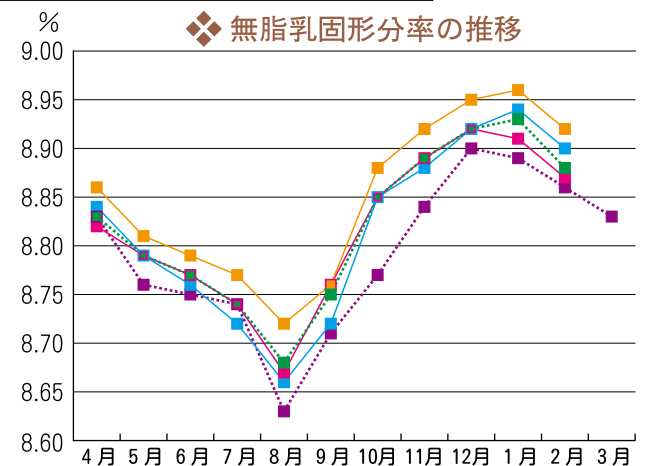


◆ 那須高原 ◆ 宇都宮 ◆ 県南 ◆ 令和2年度 ◆ 令和元年度

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



理事会だより

12月度理事会（12月28日）

報告事項

- (一) 組合員の加入・脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 年末手当の支給について
- (五) 宇都宮・県南支所意見交換会について

協議事項

- (一) 11月度事業実績について
- (二) 第20回酪農まつりについて
- (三) 規程等の一部改正について

1月度理事会（1月29日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について

- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 特別管理未収金の報告について
- (六) 乳牛飼養動態調査結果について
- (七) 子会社の第3四半期事業実績について
- (八) 関東生乳販連情報について

協議事項

- (一) 12月度及び第3四半期事業実績について

2月度理事会（2月26日）

報告事項

- (一) 組合員の加入について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 宇都宮・県南支所意見交換会について

協議事項

- (一) 1月度事業実績について
- (二) 組合と理事との契約について
- (三) 固定資産の取得について

お知らせ



《職員人事》

定年退職者（3月31日付）

県南支所長

大野 満（再雇用）

退職者（3月31日付）

総務部総務課（嘱託）

薄井 壮

技術顧問（嘱託） 齊藤 達夫

総務部付酪農協会事務局長（臨時）

長山 隆芳

経済部宇都宮検査室（臨時）

後藤 時夫

業務部ふれあい牧場（臨時）

野沢 誠一

那須高原支所業務推進課（パート）

山崎 和江

新規採用者（2月1日付）

業務部ふれあい牧場（臨時）

井澤 彩乃

経済部那須高原CS（臨時）

浅井 秀樹

経済部生乳受託課（臨時）

秋澤 智子

定期異動（4月1日付）

次頁「酪農とちぎ機構図」のとおり

2月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
根室	2月4日	337	311	92.3%	756	22	20	880
十勝	2月3日	697	636	91.2%	803	51	50	1,118
釧路	2月16日	368	331	89.9%	717	7	7	1,044
十勝	2月17日	656	610	93.0%	826	55	51	1,066
北見	2月18日	388	372	95.9%	803	19	17	1,009
豊富	2月19日	343	328	95.6%	766	2	2	743
根室	2月25日	392	356	90.8%	762	22	22	965
合計		3,181	2,944	92.5%	776	178	169	975
前月		2,301	2,078	90.3%	788	153	148	1,001
前年同月		2,992	2,348	78.5%	819	239	185	981

初妊牛の今後の動向は6月分娩腹が中心となります。昨年9月に記録した、平均687千円を底に初妊牛相場は上昇傾向を続けておりましたが、1月～2月70万円台後半で落ち着きを見えています。今後は夏分娩腹が多く上場される事から相場の下げ要素はあるものの、今年度も実施される事となった導入関係の補助事業による引き合い強化も予想されるため概ね堅調で推移するものと思われまます。導入を希望される方は腹条件・分娩月によって手配に時間がかかることも予想されますので、十分余裕をもってのお申込みをよろしくお願い申し上げます。

2月度 県内家畜市場成績（単位：円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須(2/25)	ホルズ雄	76	76	62	145,200	1,100	89,766	▲ 33,309
	F1雄	73	73	61	239,800	94,600	174,870	▲ 3,131
	F1雌	61	61	58	207,900	40,700	146,877	▲ 16,901

今回の初生牛相場は前回から比較し、すべての種において弱含みで推移しています。F1雄の相場動向を見ますと、1月の平均167千円、2月の平均174千円とほぼ横ばいで推移しています。価格としては10月の平均154千円が底となり若干回復の傾向が見られるものの、回毎に値動きを繰り返しながら160～175千円の間を維持しているようです。例年春から夏にかけて相場は上昇傾向を取る事が多いものの、経済状況やコロナウイルスの感染状況によって予測不能な動きをする可能性もありますので、全体として横ばい～やや強含みで推移するものと思われまます。



いつでもマスク 気をつけたい「5つの場面」

大人数や
長時間に
およぶ飲食

飲酒を伴う
懇親会など

マスク
なしでの
会話

狭い空間
での
共同生活

居場所の
切り替わり

「ありがとう」が感染予防の輪をつくる



新型コロナウイルス感染症対策推進室

\\ これからも守って欲しいこと //

- マスク着用・三密回避、室内換気を
- 手洗い・アルコール消毒を
- 会話は静かに
- 体調不良時、発熱時は出かけない
- 集まりは少人数・短時間で